

# 寸言

富士フィルター工業株式会社  
執行役員 営業本部長  
和井田 洋平



## 焼結金属の技術を活かし、宇宙航空産業にも貢献を!

2019年5月1日に日本航空宇宙工業会に入会させて頂きました、富士フィルター工業(株)の和井田 洋平と申します。

弊社は1966年の創業以来54年にわたり、社内製作・加工をした焼結金属（金網、ファイバー）濾材を使用したフィルターエレメント及び容器、システムの設計、製造、販売をしている会社です。創業当初より国内のお客様はもとより、海外のお客様に直接コンタクト、訪問、打ち合わせを行い、お客様の要望に合う製品を設計、提案しております。現在は、ヨーロッパ、中東、アフリカ、東南アジア、インド、南北アメリカ等でおお客様の製品品質、生産効率の向上のお手伝いをさせて頂いております。

弊社の焼結金属（金網、ファイバー）濾材の特徴は、繊維接点を焼結（拡散結合）することで、圧力・粘度・振動等により目開きが変わることなく、納入時のろ過精度を維持出来ることです。

濾材から社内製作しておりますので、お客様の要求される形状は当然として、メッシュ、ファイバーの組み合わせを変えることで幅広いろ過精度、強度要求に対応しております。また、弊社栃木工場内に完備した洗浄設備で、お客様が使用した焼結金属エレメントを破壊することなく再使用できるよう洗浄業務も行っており、廃棄物の低減、コスト削減等環境面の取り組みにも対応しております。

航空・宇宙産業に対しては、宇宙開発事業団（NASDA）向けにお引合い頂いたお客様経由でLH2、Ghe、GN2、LOXフィルターをH-II

ロケット用の地上設備として納入させて頂いた実績があり（1987～1990年）、現在もH-II及びH3用地上設備としてお引合い、ご注文を頂いております。また、ヨーロッパのアリアンII（Ariane 2）ロケットに燃料供給を行っていたLinde AG社（独）より、燃料供給、受け入れ口用に弊社焼結金属（金網）エレメントを納入させて頂いたこともあります。

弊社の焼結金属エレメントは、石油、石油化学、オイル、高粘度樹脂、ガス等あらゆる産業用途で使用されておりますが、航空・宇宙産業向けもその中の一用途として対応してきました。しかし、近年特にアメリカの顧客からの引き合い受領時にAS9100の認証の有無を確認される機会があり、認証を有することも採用の条件にもなっています。（試作テスト段階では認証の有無は問わないが、本採用となるまでには認証取得が必要であるとの説明でした。）

そのような経緯から、2018年8月に同JISQ9100の認証を取得し、本年3月に日本航空宇宙工業会への入会申請を行いました。

未だ航空宇宙産業においては知識、力不足の面は多々あると思いますが、弊社では“Think Globally, Act Locally”をスローガンとし、世界を含めたお客様の要求に対応する為に視野は広く持ちながら、弊社の得意技術である焼結を軸にこれからもより良い製品作りに取り組んでまいります。貴会への入会をきっかけとして、新しい学びや情報交換の場も増やしていければと考えておりますので、皆様からのご指導を何卒よろしくお願いいたします。